

開講年度：2026

科目名	糖尿病・内分泌・代謝 Diabetes, Endocrinology and Metabolism	題目（副題）	
担当教員、教員連絡先内線	山崎 雅則 他		
学年、講義期間、曜日・時限	3 前期（随時）	月曜・1時限 月曜・2時限 月曜・3時限 月曜・4時限 月曜・5時限 月曜・6時限 火曜・1時限 火曜・2時限 火曜・3時限 火曜・4時限 火曜・5時限 火曜・6時限 水曜・1時限 水曜・2時限 水曜・3時限 水曜・4時限 水曜・5時限 水曜・6時限 木曜・1時限 木曜・2時限 木曜・3時限 木曜・4時限 木曜・5時限 木曜・6時限 金曜・1時限 金曜・2時限 金曜・3時限 金曜・4時限 金曜・5時限 金曜・6時限	
単位数、講義室	3単位 医学科第2臨床講堂	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄ 授業達成目標		
	M21カリ・医学		
	患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。	⇄	内分泌・代謝疾患の診療が適切に行えるために、内分泌・代謝学の基礎的知識を学習する。
	疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。	⇄	栄養状態の評価と管理ができるために、栄養学の基礎的知識を学習する。
	M26カリ・医学, M25カリ・医学, M24カリ・医学, M23カリ・医学, M22カリ・医学		
	＜基礎的・専門的な知識と技能＞疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技能を修得している。	⇄	内分泌代謝学に必要な生理学、薬理学的知識を学習する。
	＜問題解決力＞患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して適切に判断し必要な行動ができる。	⇄	症例を通して患者の身体的・心理的・社会的状態の評価を行い、適切な対応法を学ぶ。
臨床実習前の到達目標	・必要な課題を発見し、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な解決方法を見出すことができる。 ・講義、教科書、検索情報などを基に、自らの考えを示すことができる。 ・必要最低限の病歴を聴取し、基本的な身体診察を行うことができる。 ・コミュニケーションの方法と技能およびその及ぼす影響を概説できる。 ・チーム医療の意義を説明できる。 ・チーム医療における医師の役割を説明できる。 ・医療事故の防止において個人の注意、組織的なリスク管理の重要性を説明できる。 ・研究は医学・医療の発展や患者の権利の増進のために行われることを説明できる。 ・生命科学の講義や実習から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断の深化につなげることができる。 ・生涯学習の重要性を説明でき、継続的学習に必要な情報を収集できる。		
授業で学べる「テーマ」	その他		
全学横断特別教育プログラム			
授業のキーワード	内分泌、糖尿病、代謝、ホルモン、栄養 実務経験のある教員による授業科目		
授業の概要・一般目標	C-2-2) 組織・各臓器の構成、機能と位置関係：細胞集団としての組織・臓器の構成、機能分化と方向用語を理解する。 C-3-3) 生体と薬物：薬物・毒物の生体への作用について、個体・細胞・分子のレベルにおける作用機序と、生体と薬物分子との相互作用を理解し、的確な薬物療法を行うための基本的な考え方を学ぶ。 C-2-5 生体物質の代謝 ②解糖の経路と調節機構を説明できる。 ⑤糖新生の経路と調節機構を説明できる。 ⑥グリコーゲンの合成と分解の経路を説明できる。 ⑧脂質の合成と分解を説明できる。 ⑨リポタンパクの構造と代謝を説明できる。 C-4-1 ゲノム・染色体・遺伝子の多様性と疾患との関連を理解する。C-4-3 糖、タンパク質、脂質等の代謝異常によって生じる多様な疾患を理解する。 D-12 内分泌・代謝系の構成と機能を理解し、主な内分泌・代謝疾患の病因、病態生理、症候、診断 と治療を学ぶ。 1)甲状腺・副甲状腺疾患を列記し、その病態、症状、診断、治療を説明する。 2)下垂体疾患を列記し、その病態、症状、診断法、治療法につき説明する。 3)副腎疾患・性腺疾患について、その病態、症状、診断法、治療法につき説明する。 4)糖、脂質、核酸、ポルフィリン、鉄、銅の代謝を説明し、それらと関連した疾患につき述べる。 5)糖尿病の疫学、治療、合併症について述べる。 6)水・電解質異常について、関連した疾患を列記し、その病態、症状、診断、治療について説明する。 7)複数の内分泌臓器の障害を呈する症候群について述べる。 F-2-8) 薬物治療の基本原則：診療に必要な薬物治療の基本（薬理作用、有害事象、投与時の注意事項）を学ぶ。 主として薬力学を修得する。具体的には、以下の薬の種類・作用機序・臨床適用・副作用・禁忌を説明できるようにする。⑥内分泌系薬、⑦抗糖尿病薬		
テキスト、教材、参考書	内科学 朝倉書店		

テキスト，教材，参考書	その他、参考図書は講義の際に適宜紹介する。
履修上の注意	遅刻、無断欠席しないなど、社会規範を遵守すること。
授業の形式，視聴覚機器等の活用	講義、プリント、スライド
成績評価の方法	中間試験30%＋期末試験70%で判定する。全体で60%以上で合格とする。 試験では、本授業の学修目標への到達度および今後に必要な知識が定着しているかを確認します。
成績評価の基準	90-100点:秀 80-89点:優 70-79点:良 60-69点:可 全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数（およそ8割程度）に出席が満たない場合は、単位を認めない場合があります。欠席した場合の学修補充については、医学部医学科履修及び試験内規に従います。
事前事後学習の内容	アップロードされた資料を事前に十分読み込むこと。 講義後に理解できないことは自分で良く調べ、それでもわからなければ教官に質問すること。 本授業の単位修得には、54時間分の時間外学習が必要です。
学生へのメッセージ並びにオフィスアワー（質問，相談への対応）	質問は随時受け付けます。下記のメールアドレスでも受け付けます。 macha@shinshu-u.ac.jp

授業日	第 1 回	4月 1日(水 1)	SB0s	○糖・脂質代謝について説明できる。 ○内分泌学の概念を説明できる。 ○ホルモンを列挙し、その作用と分泌機構について述べることができる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	内分泌代謝学概論			
担当	山崎 雅則			
授業日	第 2 回	4月 1日(水 2～3)	SB0s	D-8-4)-(6) ①糖尿病腎症の症候、診断と治療を説明できる。 D-12-1) ⑥膵島から分泌されるホルモンの作用を説明できる。 ⑨糖質・タンパク質・脂質の代謝経路と相互作用を説明できる。 D-12-4)-(5) ①糖尿病の病因、病態生理、分類、症候と診断を説明できる。 ②糖尿病の急性合併症を説明できる。 ③糖尿病の慢性合併症を列挙し、概説できる。 ④糖尿病の治療（食事療法、運動療法、薬物治療）を概説できる。 ⑤低血糖症を概説できる。 F-1-7) ③意識障害・失神がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。 ○インスリン受容体が駆動する細胞内情報伝達機構とその役割を説明できる。 ○インスリン製剤・経口血糖降下薬・ビッグアニド・チアゾリジン・αグルコシダーゼ阻害薬・ジペプチジルペプチダーゼ4阻害薬・SGLT2阻害薬の種類・作用機序・臨床適用・副作用・禁忌を説明できる。 NEW薬理学（改訂第7版）p. 526-536
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	抗糖尿病薬 糖尿病の治療に用いられる薬物の作用機序、臨床適用、副作用を学ぶ。			
担当	木村 航			
授業日	第 3 回	4月 1日(水 5～6)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 4 回	4月 2日(木 1)	SB0s	C-2-4) 個体と器官が形成される発生過程を理解する。 ①配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。 D-9-1) ①生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。 D-12-1) ⑦男性ホルモン・女性ホルモンの合成・代謝経路と作用を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	生殖（1）性の分化および生殖内分泌概論を学ぶ。			
担当	田淵 克彦			
授業日	第 5 回	4月 2日(木 2)	SB0s	D-9-1) ②男性生殖器官の発育の過程を説明できる。 ③男性生殖器官の形態と機能を説明できる。 ④精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。 ⑤陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	生殖（2）男性の生殖期について学ぶ。			
担当	田淵 克彦			
授業日	第 6 回	4月 2日(木 3)	SB0s	D-12-1) ⑨糖質・タンパク質・脂質の代謝経路と相互作用を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	リボ蛋白質代謝を学ぶ			
担当	沢村 達也			
授業日	第 7 回	4月 2日(木 4～5)	SB0s	C-2-3)-(4) ①生体の恒常性維持と適応を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	体温調節機構を学ぶ			
担当	中村 和弘（名古屋大学）			
授業日	第 8 回	4月 2日(木 6)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 9 回	4月 3日(金 1)	SB0s	PS-02-14-01 内分泌・栄養・代謝系の構造と機能について基本的事項を理解している（ホルモンの構造的分類、作用機序及び分泌調節機能）。 PS-01-02-05 受容体の種類・細胞内局在・機能、受容体による細胞内シグナル伝達過程について理解している。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	ホルモンの定義、種類、作用様式を学ぶ。			
担当	中島 岳郎			

授業日	第 10 回	4月 3日(金 2)	SB0s	PS-02-14-01 内分泌・栄養・代謝系の構造と機能について基本的事項を理解している（血中ホルモン濃度に影響を与える因子及びホルモンの日内変動）。 PS-01-02-19 生体の恒常性維持と適応、恒常性維持のための調節機構(フィードバック調節)について理解している。 PS-01-02-20 生体機能や体内環境のリズム性変化について理解している。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	ホルモン分泌・作用の調節機構を学ぶ			
担当	中嘉 岳郎			
授業日	第 11 回	4月 3日(金 3)	SB0s	PS-02-14-01 内分泌・栄養・代謝系の構造と機能について基本的事項を理解している（視床下部ホルモン・下垂体ホルモンの名称、作用と相互関係）。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	視床下部ホルモンと下垂体ホルモンについて学ぶ			
担当	中嘉 岳郎			
授業日	第 12 回	4月 3日(金 4)	SB0s	C-2-5) ⑨リポタンパクの構造と代謝を説明できる。 C-4-3) ③脂質代謝異常の病態を説明できる。 D-5-4)-(2) ④虚血性心疾患の発症予防、再発予防を説明できる。 D-5-4)-(7) ①動脈硬化の危険因子、病態、非侵襲的検査法を説明できる。 D-12-4)-(6) ①脂質異常症（高脂血症）の分類、病因と病態を説明できる。 ②脂質異常症（高脂血症）の予防と治療を説明できる。 ○HMG CoA還元酵素阻害薬・コレステロール取り込み阻害薬・陰イオン交換樹脂・プロブコール・ニコチン酸・フィブラート系薬の種類・作用機序・臨床適用・副作用・禁忌を説明できる。 NEW薬理学（改訂第7版）p. 537-541
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	脂質異常症治療薬 脂質異常症治療薬について学ぶ。			
担当	木村 航			
授業日	第 13 回	4月 3日(金 5～6)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 14 回	4月 6日(月 1)	SB0s	D-12-1)④ D-12-4)-(2)①②③ 甲状腺ホルモンの基礎的調節メカニズムを説明できる。 甲状腺疾患を列記できる。 甲状腺疾患の診断法を説明出来る。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	甲状腺疾患について理解する(1)			
担当	鈴木 悟（福島県立医科大学）			
授業日	第 15 回	4月 6日(月 2)	SB0s	D-9-4)-(1) 男性生殖器官疾患 ①男性不妊症を概説できる。（免疫抑制薬） D-9-4)-(2) 女性生殖器官疾患 ③不妊症の系統診断と治療を説明できる。（免疫抑制薬） D-12-4)-(1) 視床下部・下垂体疾患 ⑥高プロラクチン血症を概説できる。（抗精神病薬、SSRI、ペラバミル） D-12-4)-(2) 甲状腺疾患 ③甲状腺機能低下症の症候、診断と治療を説明できる。（アミオダロン、インターフェロンα、リチウム） D-12-4)-(4) 副腎皮質・髄質疾患 ①Cushing 症候群の病態、症候と診断を説明できる。（糖質ステロイド） D-12-4)-(4) 副腎皮質・髄質疾患 ③副腎不全（急性・慢性（Addison 病））の病因、病態生理、症候、診断と治療を説明できる。（フェニトイン、バルビタール、リファンピシン） （ ）内は、関連する薬
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	薬による内分泌かく乱を説明できる。			
担当	富田 拓郎			
授業日	第 16 回	4月 6日(月 3)	SB0s	D-8-3)-(1) 電解質異常 ①高・低Na 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。（高Na 血症：リチウム、デメクロサイクリン、メトキシフルラン、アンホテリシンB、アミノグリコシド、フォスカルネット；低Na 血症：利尿薬、SIADH誘発薬、ビオグリタゾン） ②高・低K 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。（高K 血症：利尿薬、非選択的β遮断薬、シクロスポリン、トリメトプリム、ナファモスタット；低K 血症：利尿薬、甘草製剤、アンホテリシンB、ベニシリン、ゲンタマイシン、インスリン、β2アゴニスト） ③高・低Ca 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる（高Ca 血症：ビタミンD、リチウム、サイアザイド；低Ca 血症：ループ利尿薬、フェニトイン、フェノバルビタール、カルバマゼピン、イソニアジド、リファンピシン、ビスホスフォネート）。 D-12-4)-(1) 視床下部・下垂体疾患 ⑦抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(syndrome of inappropriate secretion of antidiuretic hormone <SIADH>)を概説できる。 D-12-4)-(3) 副甲状腺疾患とカルシウム代謝異常 ①カルシウム代謝の異常を疾患と関連付けて説明できる。 D-12-4)-(8) ビタミン・微量元素の欠乏と過剰 ①ビタミン・微量元素の欠乏症と過剰症を概説できる。 （ ）内は、関連する薬
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	薬による水・電解質異常を説明できる。			
担当	富田 拓郎			
授業日	第 17 回	4月 6日(月 4)	SB0s	D-9-1) ⑥女性生殖器官の発育の過程を説明できる。 ⑦女性生殖器官の形態と機能を説明できる。 ⑧性周期発現と排卵の機序を説明できる。 ⑨閉経の過程と疾病リスクの変化を説明できる。 D-11-1) ①乳房の構造と機能を説明できる。 ②成長発達に伴う乳房の変化を説明できる。 ③乳汁分泌に関するホルモンの作用を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	生殖（3）女性性腺の機能と制御機構について学ぶ。			
担当	田淵 克彦			
授業日	第 18 回	4月 6日(月 5)	SB0s	D-12-4)-(2) ①Basedow病の病態と病理所見を説明できる。 ②甲状腺炎（慢性・亜急性）の病態と病理所見を説明できる。 ③甲状腺機能低下症の病態を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	内分泌の病理-2：甲状腺、副甲状腺の構造と機能を理解し、それぞれの機能亢進症と機能低下症の病態と病理を学び、更に甲状腺では腫瘍の特徴について学ぶ。			
担当	福島 万奈（福井大学）			

授業日	第 19 回	4月 6日(月 6)	SB0s	D-12-4)-(3)
講義室	医学科第2臨床講堂			②副甲状腺機能亢進症と副甲状腺機能低下症の病因、病態と病理所見を説明できる。
GI0	内分泌の病理-2：甲状腺、副甲状腺の構造と機能を理解し、それぞれの機能亢進症と機能低下症の病態と病理を学び、更に甲状腺では腫瘍の特徴について学ぶ。			D-12-4)-(10) ①甲状腺腫瘍を分類し、病理所見と予後を説明できる。
担当	福島 万奈（福井大学）			
授業日	第 20 回	4月 7日(火 1)	SB0s	PS-02-14-01 内分泌・栄養・代謝系の構造と機能について基本的事項を理解している（副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構）。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	副腎皮質ホルモンと副腎髄質ホルモンについて学ぶ			
担当	中嘉 岳郎			
授業日	第 21 回	4月 7日(火 2)	SB0s	PS-02-14-01 内分泌・栄養・代謝系の構造と機能について基本的事項を理解している（甲状腺と副甲状腺(上皮小体)から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構）。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	甲状腺ホルモンと副甲状腺ホルモンについて学ぶ			
担当	中嘉 岳郎			
授業日	第 22 回	4月 7日(火 3)	SB0s	PS-02-14-01 内分泌・栄養・代謝系の構造と機能について基本的事項を理解している（膵島から分泌されるホルモンの作用、糖質・タンパク質・脂質の代謝経路と相互作用）。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	膵ホルモンについて学ぶ			
担当	中嘉 岳郎			
授業日	第 23 回	4月 7日(火 4)	SB0s	C-2-5 生体物質の代謝 ② 解糖の経路と調節機構を説明できる。 ⑤ 糖新生の経路と調節機構を説明できる。 ⑥ グリコーゲンの合成と分解の経路を説明できる。 ⑧ 脂質の合成と分解を説明できる。 C-4-3 糖、タンパク質、脂質等の代謝異常によって生じる多様な疾患を理解する。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	糖・脂質代謝における臓器連関を学ぶ①			
担当	田中 直樹			
授業日	第 24 回	4月 7日(火 5)	SB0s	C-2-5 生体物質の代謝 ② 解糖の経路と調節機構を説明できる。 ⑤ 糖新生の経路と調節機構を説明できる。 ⑥ グリコーゲンの合成と分解の経路を説明できる。 ⑧ 脂質の合成と分解を説明できる。 C-4-3 糖、タンパク質、脂質等の代謝異常によって生じる多様な疾患を理解する。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	糖・脂質代謝における臓器連関を学ぶ②			
担当	田中 直樹			
授業日	第 25 回	4月 8日(水 2～3)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	中間試験			
担当	山崎 雅則、島田 恭輔			
授業日	第 26 回	4月 8日(水 5)	SB0s	C-4-1)③ D-12-1)⑦ 性染色体異常、性分化異常を説明できる。 性腺疾患の診断、治療を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	性腺疾患を理解する			
担当	島田 恭輔			
授業日	第 27 回	4月 8日(水 6)	SB0s	C-4-3)③ D-12-1)⑨ D-12-4)-(6)⑫ 脂質代謝異常症を説明できる。 脂質代謝異常症の診断、治療を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	脂質代謝異常について学習する			
担当	高山 昇平			
授業日	第 28 回	4月 9日(木 1)	SB0s	D-12-1)③ D-12-4)③ 間脳下垂体疾患の特徴、診断、治療を説明出できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	間脳下垂体疾患について理解する(1)			
担当	柴田 有亮			

授業日	第 29 回	4月 9日(木 2)	SB0s	D-12-4)-(2)① D-12-4)-(10)① 甲状腺腫瘍の種類について説明できる。 甲状腺がんの種類を説明できる。 甲状腺疾患の外科治療について説明できる。 バセドウ病の手術適応を説明できる。 バセドウ病の手術について説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	内分泌外科：甲状腺，副甲状腺腫瘍の診断と外科治療、バセドウ病の外科治療			
担当	金井 敏晴			
授業日	第 30 回	4月 9日(木 3～6)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 31 回	4月10日(金 1)	SB0s	D-12-4)-(3)①②③④ 副甲状腺，カルシウム代謝の基礎的長欠メカニズムを説明出来る。 副甲状腺，カルシウム代謝疾患を列挙できる。 副甲状腺，カルシウム代謝の診断法を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	副甲状腺、カルシウム代謝について学習する(1)			
担当	山崎 雅則			
授業日	第 32 回	4月10日(金 2)	SB0s	D-12-4)-(3)①②③④ 副甲状腺，カルシウム代謝の基礎的長欠メカニズムを説明できる。 副甲状腺，カルシウム代謝疾患を列挙できる。 副甲状腺，カルシウム代謝の診断法を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	副甲状腺、カルシウム代謝について学習する(2)			
担当	山崎 雅則			
授業日	第 33 回	4月10日(金 3)	SB0s	D-4-4)-(1)⑤ 骨粗鬆症について説明できる ○骨軟化症について説明できる
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	骨代謝疾患について学習する			
担当	山崎 雅則			
授業日	第 34 回	4月10日(金 4)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 35 回	4月10日(金 5)	SB0s	D-12-1)③ D-12-4)③ 間脳下垂体疾患の特徴、診断、治療を説明出来る。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	間脳下垂体疾患について理解する(2)			
担当	柴田 有亮			
授業日	第 36 回	4月13日(月 1)	SB0s	D-12-1)④ D-12-4)-(2)①②③ 甲状腺ホルモンの基礎的調節メカニズムを説明できる。 甲状腺疾患を列記できる。 甲状腺疾患の診断法を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	甲状腺疾患について理解する(2)			
担当	鈴木 悟（福島県立医科大学）			
授業日	第 37 回	4月13日(月 2)	SB0s	D-12-3)-(3)① F-3-5)-(2)② やせと肥満の病態を説明できる。 栄養状態の評価法を説明できる。 栄養サポートチームの活動目的、内容を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	やせと肥満を理解する臨床栄養学の基礎を学ぶ(1)			
担当	島田 恭輔			
授業日	第 38 回	4月13日(月 3～5)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	自習			
担当				

授業日	第 39 回	4月14日(火1)	SB0s	D-12-4)-(5)①②③④
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	糖尿病の原因と診断について学習する			糖尿病について理解する。 糖尿病の診断ができる。 糖尿病の原因を列挙できる。 二次性糖尿病について説明できる。
担当	関戸 貴志			
授業日	第 40 回	4月14日(火2～3)	SB0s	D-12-4)-(5)
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	糖尿病の合併症について学習する			糖尿病のnatural historyを説明できる。 糖尿病の合併症の種類、機序、治療について説明できる。
担当	関戸 貴志			
授業日	第 41 回	4月14日(火4)	SB0s	D-12-3)-(3)1
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	やせと肥満を理解する 臨床栄養学の基礎を学ぶ(2)			F-3-5)-(2)2 やせと肥満の病態を説明できる。 栄養状態の評価法を説明できる。 栄養サポートチームの活動目的、内容を説明できる。
担当	田中 直樹			
授業日	第 42 回	4月14日(火5)	SB0s	D-5-4)-(9)
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	糖尿病の症例を理解する			D-12-4)-(5)②③ C-5-8) 糖尿病合併症を有する患者の病歴から、それぞれの糖尿病合併症を指摘できる。 糖尿病合併症の特徴を説明できる。 糖尿病合併症の予防について説明できる。 糖尿病合併症の発症機序について説明できる。 糖尿病合併症の治療について説明できる。 行動変容とそれを促すアプローチについて説明できる。
担当	関戸 貴志			
授業日	第 43 回	4月14日(火6)	SB0s	D-12-4)-(5)②
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	高血糖による急性合併症の病態・治療を説明出来る			糖尿病患者の急性合併症を列記できる。 糖尿病ケトアシドーシスの診断・治療を説明出来る。 高血糖・高浸透圧症候群の診断・治療を説明出来る。
担当	柴田 有亮			
授業日	第 44 回	4月15日(水2)	SB0s	○検査データや画像データを解釈できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	内分泌症例検討(1)			○鑑別診断ができる。 ○関連疾患の基礎知識を再確認する。 ○治療戦略がたてられる。
担当	島田 恭輔			
授業日	第 45 回	4月15日(水3)	SB0s	○検査データや画像データを解釈できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	内分泌症例検討(2)			○鑑別診断ができる。 ○関連疾患の基礎知識を再確認する。 ○治療戦略がたてられる。
担当	高山 昇平			
授業日	第 46 回	4月15日(水5)	SB0s	D-7-4)-(3)①⑥
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	膵消化管神経内分泌腫瘍について学習する			E-3-5)⑦ 膵消化管神経内分泌腫瘍の病態、診断、治療を説明できる
担当	山崎 雅則			
授業日	第 47 回	4月15日(水6)	SB0s	○多発性内分泌腫瘍症の種類、発症機序、病態、治療について説明できる
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	多発性内分泌腫瘍症について学習する			○授業のふりかえりを入力する
担当	山崎 雅則			
授業日	第 48 回	4月16日(木2～6)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	自習			
担当				

授業日	第 49 回 4月20日(月 4～5)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂		
G10	期末試験 (12:50～15:00)		
担当	山崎 雅則、高山 昇平		